

## 会 議 録

会議名		令和6年度第6回小山地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)		中央区役所中央6地区まちづくりセンター 電話042-707-7049 (直通)		
開催日時		令和7年2月18日(火) 19時00分～20時15分		
開催場所		小山公民館 大会議室		
出席者	委員	15人(別紙のとおり)		
	その他	0人		
	事務局等	2人(中央6地区まちづくりセンター総括副主幹ほか1人)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	1人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1 開 会 2 あいさつ 3 報告事項 (1) 地域活性化事業交付金申請事業の交付状況について (2) 来年度のまちづくり会議開催日程(案)について 4 議 題 (1) 令和6年度の振り返りと令和7年度の取組(案)について 5 その他 (1) 来年度のまちづくり会議委員の推薦について (2) 相模原駅北口地区のまちづくりについて ・向陽小学校6年生 中央区長に向けたまちづくりの提案発表会について *動画視聴 ・土地利用計画策定に向けた今後のスケジュールについて (3) 委員からの報告・意見交換 6 閉 会		

# 議 事 録

主な内容は次のとおり。(○は委員の発言、●は事務局の発言)

## 1 開 会

## 2 会長あいさつ

入谷会長のあいさつにより開会した。

## 3 報告事項

### (1) 地域活性化事業交付金申請事業の交付状況について

今年度申請があった3件の事業について、事務局及び申請団体から現時点の実施状況及び令和7年度の募集記事等の報告が行われた。詳細は以下のとおり。

#### ■小山地域の人と人をつなげるプロジェクト（事務局から報告）

2月現在で20回以上の事業を実施しており、各事業10名以上の参加がある。

実施内容は「歌のつどい」、「絵手紙教室」、「歌って踊ってもりあがろう」、「クリスマスコンサート」などである。今年度の新たな取組としては、桜美林大学生と共同で実施した「スタンプラリー事業」、「発達障がいのセミナー」や向陽小学校の授業として実施した「昔遊び授業」などである。

実施団体からの感想としては、「参加者が定着し、これまで公民館に足を運んだことのない方たちの参加があった。」、「地域情報紙をフルに活用したことで参加者に情報が届けられた。」、「参加者からの提案を事業化できた。」、「大学との連携事業や小学校の授業協力グループができた。」などと伺っている。

#### ■不登校児童生徒のためのスポーツサポート（スポサポ）事業（事務局から報告）

事業開始は12月からで、2月までに7回ほど実施している。参加は各回子どもが6名程、ボランティアの指導者が5名程度である。

また、チラシの配布方法について、先日のまちづくり会議での意見を踏まえ変更し、中央区内の各学校へチラシを送付し、対象児童・生徒に配布してもらうこととなった。配布にあたっては、中学校及び小学校のそれぞれの校長会の場に当NPO法人と当センターで出向き、説明を行った。当事業は、不登校にかかる施策を担当している市青少年相談センターとも連携して取り組んでいる。

実施団体からの感想としては、「はじめはあまり喋らなかった子どもも、回を重ねるごとに笑顔がみえ会話をするようになった。」、「参加者のほとんどが放課後等デイサービスへ通っている子どもなので、少しずつ認知されさまざまな子どもに参加できるようになるとよい。」、「付添いのお母さんや先生と会話などをする中で、お互いほっとできる感覚を感じた。」、「子どもも大人も、野外で繋がれる場所や、

心を解放できる遊び場が必要であると感じた。」などと伺っている。

また、別添でお配りしているチラシのとおり、事業は3月中旬まで相模原スポーツ・レクリエーションパークで実施しているため、都合がつく方はぜひ見学に行ってください。

■小山地区ハロフェス（あいさつ運動）プロジェクト（申請団体から報告）

3月の小山中学校の卒業式に向けて、生徒主体となつてのぼり旗、アーチの作成及びバルーンについてのデザインや、素材の検討、購入等を進めている。のぼり旗のデザインとして、小山中のマスコットキャラクターである「おにやまくん」を入れる予定である。

<主な意見・質疑>

特になし。

(2) 来年度のまちづくり会議開催日程（案）について

事務局から資料に沿って、来年度のまちづくり会議開催日程（案）について説明を行った。

<主な意見・質疑>

特になし。

#### 4 議 題

(1) 令和6年度の振り返りと令和7年度を取組（案）について

事務局から資料に沿って、令和6年度のまちづくり会議の振り返りについて報告を行った。また入谷会長から、令和7年度のまちづくり会議での取組（案）について、提案が行われた。

■令和7年度を取組（案）

①他の地区の取組や関連団体の取組を学ぶ

②小山地区が目指す「災害弱者を減らす」体制（骨子）の検討

・「災害時に誰一人取り残さない小山」を目指す

・個人情報の収集・取扱い方法や、取組の実行機関の検討等

※作業グループ等を設置する

※令和8年度までに体制の確立を目指す

<主な意見・質疑>

異議等なく、承認された。

#### 5 その他

(1) 来年度のまちづくり会議委員の推薦について

事務局から資料に沿って、来年度のまちづくり会議委員の推薦について説明を行った。

<主な意見・質疑>

特になし。

## (2) 相模原駅北口地区のまちづくりについて

事務局から資料に沿って次のとおり報告等を行った。

### ■向陽小学校6年生 中央区長に向けたまちづくりの提案発表会について

先日1月31日に、中央区長等に向けて、向陽小学校の6年生により各クラスのまちづくりの提案発表会が開催され、メディアに取り上げられたJ:com「ジモトトピクス」の視聴を行った。

### ■土地利用計画策定に向けた今後のスケジュールについて

当面の予定として、3月には、昨年を実施された民間事業者からの提案も踏まえた上で土地利用計画の骨子が策定され、その後、パブリックコメント等を経て夏には土地利用計画を策定予定である。

民間事業者からの提案をどのように計画に活かしていくかについては、具体的には、昼間人口・交流人口の増加やにぎわいの創出、費用対効果、実現可能性といった観点から精査し、優れた内容を部分的に組み合わせるなどして、土地利用計画に反映する考えである。

<主な意見・質疑>

特になし。

## (3) 委員からの報告・意見交換

<主な意見・質疑等>

○本日、資料として「小山地域包括支援センターの冊子」、「おやまっぷ」、チラシ「小山ックスカフェ」と併せて3月29日（土）に実施するイベントのチラシを配布させていただいた。冊子については、災害時等の関連機関等が掲載されており、まっぷはその機関等を地図上に掲載したものであるため、参考にしていただければと思う。まっぷは、小山地域包括支援センターが事務局となって開催している地域ケア会議で、令和5年度に作られたものである。地域ケア会議においては、今年度は移動支援を検討テーマとしており、京王バスの一部路線廃止についても話題にあがった。

また、今年度のまちづくり会議から、新たなテーマで検討を始めたが、初めから全て成功する取組はない。検討にあたって身近な人とつながることも第一歩であるため、成長の過程を喜んだり楽しんだりすることも地域として大切なこ

とであると思う。

⇒○移動支援に関しては、しょうじゅの里において移動販売が開始されたことや、「大人の生理用品を買う場所がなく困っている」という声も聞こえてくる。まちづくり会議では災害をテーマとして検討を始めたが、視点を変えた検討もよいと思う。

⇒○京王バスについて、一部路線が廃止されたことによりどれだけの方が移動しづらさを感じるのか、また地域循環バスについて、本市においてはどれくらい地域の方から要望があるのか分かっていないが、その様なことも検討できたらよい。

⇒○まず、高齢化が問題となっているが、高齢化率の高さが移動困難につながるわけではない。神奈中バスの路線は廃止されないので、大きな影響はないと思うが、すすきの地区で実施していた移動販売が廃止されたことにより、影響を受けた人が多いと伺っている。そのため、先ほども話題にあがったしょうじゅの里の移動販売において、昨年8月からパン販売を開始するなどの取組も行った。移動販売はオープンにしづらいという事情があると伺っているが、できる限りの情報を記載したチラシを作成するなどし、周知を行っていききたい。

⇒○移動支援については、昨年7月まで、本市において市内のタクシー業者と連携して「乗合タクシー」を運行する実証実験を、相模台地区で実施したと承知している。結果についてはフィードバックがなかったため、市の担当課へ依頼し、まちづくり会議で報告していただくのもよいと思う。

○横浜市の取組を参考に報告する。令和6年度以前は「にぎわいの創出」等をテーマとして3年程検討し、令和7年度においては「安全・安心」をテーマとする予定と伺っている。検討のために必要なのは、多くの人の意見、地域に根差した方の意見や来街者の視点であるが、足りていないものはいつも外国人視点だと言われている。課題はさまざまあるが、テーマがあれば皆で共通認識を持ち、取り組んでいけると思うので、本市もその様な視点で検討できればと思う。

⇒○外国人関連として、星が丘地区においては地区自治会連合会で実施している防災訓練に、今年度は外国人も参加し実施したと承知している。小山地区においても今後外国人の状況を把握し、さまざまな事業等に参加していただけるような機会を設けられたらと思う。

○ごみ集積場所の問題について伺いたい。以前カラスの対策についてお伺いさせていただいたが、最近ではねずみのごみ集積場所を荒らすことについても頭を悩ませている。また、外国人市民のごみ出しについて、ルールが守られていない。ごみ出しのルールが記載された多言語版の看板を掲示したが、効果はなく、ルールを守っていない方も特定できないため、注意するのも難しい。各自治会の対応等を伺いたい。

⇒○外国人市民向けの啓発として、さがみはら国際交流ラウンジにおいて、ごみの種類や出し方を含めた生活に関わるルール等を紹介する多言語の動画が作成されたため、今後、各自治会の代表へお知らせする予定である。外国人市民にごみ出しのルールを理解してもらうためには、本動画を周知する、動画の音声を文字起こした書類をお渡しするという方法もある。

また、その他の方法として、外国人市民を雇用している企業等に伺い、ごみ出しのルールについて企業から説明していただけるよう、依頼することもできる。まちを奇麗にすることは犯罪の抑止にもつながると考えており、地区自治会連合会としても協力するので、その際は声をかけてほしい。

⇒○私の自治会でも同様の課題がある。もちろんルールを掲示する、書類をお渡しすること等は必要だが、そもそもごみ出しの習慣がない方も多いので、まずは話し合いをし、雇用している企業にも何度も説明に伺った。そのようなことを重ね、少しずつ理解していただいている。

⇒○外国人市民のごみ出しについては、私の自治会でも課題であるが、話し合い等を実施している自治会があるとは知らなかった。

また、外国人市民への啓発について、ごみ出しを含めた日常生活のルールについて、転入時に周知されているのだろうか。転入時に必ずチラシを配布するなど等の取組があるとよいという声もあがっている。

⇒●清新地区のまちづくり会議においては、ごみの問題をテーマとして2年検討している。令和5年度においては、ごみの分別のルール等を周知するチラシを作成し、チラシには二次元コードの活用等により外国人市民にも伝わるような工夫を行った。今年度においてはごみ集積場所に掲示する看板を作成した。検討にあたっては、地区内全てのごみ集積場所を徒歩で確認し、地道な調査の下、進めていったという経過がある。また、星が丘地区においては、今年度、手作りで多言語版のごみ分別の看板を作成し、配布した実績もある。

⇒○外国人市民の方にごみ出しのルールを理解していただくには、アパート等の管理会社へ相談する、ごみ集積場所へ看板を掲示するなど、地道な活動が必要である。

## 6 閉 会

星副会長のあいさつにより閉会した。

以 上

# 小山地区まちづくり会議委員出欠席名簿

令和7年2月18日開催

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	入谷 利郎	小山地区自治会連合会	会長	○
2	加治 左近	宮下自治会		欠席
3	徳永 三朗	すすきの自治会		○
4	亀田 浩代	すすきの向陽自治会		○
5	新田 弘子	向陽町自治会		○
6	丸山 和加恵	久保原自治会		○
7	武井 弘吉	自治会法人 氷川町自治会		欠席
8	宇根 浩	相模原駅前自治会		欠席
9	福田 雅幸	東第一自治会		○
10	笠原 昌昭	丸山自治会		○
11	星 清次	小山公民館	副会長	○
12	川口 久美	小山公民館		○
13	小宮 里美	小山公民館利用者懇談会		欠席
14	長谷川 澄男	小山地区社会福祉協議会	副会長	欠席
15	山田 良章	小山地区社会福祉協議会		欠席
16	小池 美恵子	小山地区民生委員児童委員協議会		○
17	大谷 春枝	青少年健全育成協議会		○
18	永山 康雄	防犯指導員		○
19	加藤 秀子	相模原交通安全協会小山支部		欠席
20	中村 悠一	向陽小学校PTA		○
21	金子 順	小山中学校PTA		○
22	中里 和男	相模原西商店街協同組合		欠席
23	小田 信之	小山地域包括支援センター		○
24		学識経験者		